

慶応三年五月十四日より慶応三年五月十八日まで

P8310684right

土産品遣す、出 殿寺山小君賀に來り、大□に持來旨、西堀に家内同行來り、鶏卵一箱持來、休左衛門より同断ひらめ一頭尾賀呈、小笠原伊勢□守家來へ、□□□借受して才輔遣す彼方より九冊貸與候、尤金兩無し、伊藤(幸)賀として鯉券持來一杯を勸む、伊藤(奥)同断鯉節一折持來面す

十五日辰 雨

頼合宅調、木村屋より賀として鯛一頭尾、蝦(えび)にこち一を持來、柏葉糕を製し礫川番町坂町へ

遣す

十六日巳 雲漸晴

塚原へ蔵書を返し遣し鶏卵一折香水一瓶を投す、平山(幸)初て來り面す、松盛亭□旨、稽古に來る

P8310684left

一但州手留帳返却方、加州へ頼託す

須崎(常)明細短冊持來り、広沢賀に來り鶏卵一箱持來、出 殿明日金港出張の旨河内守殿へ

申上る、内山來り、鯉節券一方賀贈せし旨、野口母來り鶏卵一箱賀贈せし旨、礫姑來り(横)麻上下地

鯉節一折、賀贈せらる酒飯を勸む、美濃屋(市)より鯉節一箱賀し來る、笠原賀に來る、一杯を勸む

十七日午 雲

(金川)朝第七時出立、十二時前梅莊午休四時前金駄。大米屋着、今般持役に付、京地閣老所司代御城代京坂同役坂地詰、監察へ呈書吹聴状同役内状とも本日差立の様申付る、森

山(多)此中(佐)稲垣(藤)竹島(房)來り定役以下、惣員拾名皆着せし旨申聞る、今般は太郎を伴う十八日未 暴風雨午下雨止□檜暴

森山(多)來り亭(プロイセン)館へ第九時相越積の処、天氣相にく海陸共行路難に付延引の旨申遣す積り、先方よりも

*1:

□印は解説未了の文字です。私の実力ではすぐ解説できません。